

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

592-601

事務事業名	ユニバーサルデザインによる公園整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	4	5	12	2	4,500
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		福祉のまちづくり条例・都市公園法・都市公園条例				
		事業期間	15	年度～	21	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	・市民 ・公園	市民数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107938	107000			
	公園数(箇所)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
		91	94				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	・子供から高齢者まで利用しやすい公園とする。	多機能トイレ等が整備された公園数(箇所)	18目標	60	最終目標	67	25
			18実績	60	19目標	61	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	従来の公園は生活弱者が利用しづらくなっているため、誰でも使いやすい公園となるように多機能トイレ整備と出入口の段差解消を行う。	平成18年度は清水公園の多機能トイレを整備し、併せて出入口の段差を解消する。	整備された公園数・箇所	1
	18年度の実績			
	19年度計画	平成19年度は明公園の多機能トイレを整備し、併せて出入口の段差を解消する。	整備される公園数・箇所	1

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	3,200	4,000
	その他		
一般財源	370	500	
事業費計(A)	3,570	4,500	
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 500
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	1,788
	トータルコストA+B	5,358	6,288

特定財源内訳や補足事項	ユニバーサルデザインによるまちづくり事業債(90%)
-------------	----------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	生活・事業に必要な基盤が整う。	居住基盤の満足度	現状値	74.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	80
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 長野県福祉のまちづくり条例が施行され、子供から高齢者まで誰でも外出などに困らない最低限の環境整備を、平成15年から行なうことになった。	事業を取り巻く状況の変化 ますます高齢化が進み、都市のユニバーサル化が求められている。 都市公園等開設してから時間がたち、施設の老朽化も目立ちだした。 下水道区域の拡大により、水洗化が可能になった公園も増えた。	事業に対する市民や議会の意見 ・トイレの水洗化や幼児のオムツ替えのスペース等、市民からの公園のユニバーサル化の要望がある。
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 公園のユニバーサル化により、誰にでも使いやすくなる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) これ以上の成果はない。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 公園利用者は市民である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 公園が利用しづらくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 公園は誰にでも、利用しやすい施設であるべきだ。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 公園は全市民が利用する施設であり、誰でも自由に利用できる必要があるため。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 最低限の施設である。
		公平性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 誰でも気楽に利用でき、多くの人に利用されるようになるため。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 <input type="text"/>	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 公園内のトイレを平成25年度までに、多機能化をしていく。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	<input type="text"/>	・ベビーシートなどいたずらによる破損が激しい。(維持管理費の増大につながる。) ・日常の点検回数を増やす。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	